



# 奈良町にぎわい通信

Vol.39

二〇一八・小暑〜大暑

発行  
奈良町  
にぎわいの家





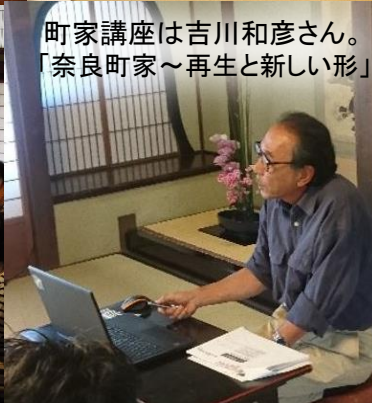
花と愛でる町家...

お客様も興味津々。

～にぎわいの華咲かそう～奈良県華道会



タイムトラベル奈良町は「奈良奉行所」  
大きな堀に囲まれていて、広かった！



町家講座は吉川和彦さん。  
「奈良町家～再生と新しい形」



四季の茶会～遠州流  
今西宗雅社中

夏らしいしつらえとお茶、  
鮮やかで爽やかで...



## 奈良町にぎわいの家 6月のイベントから



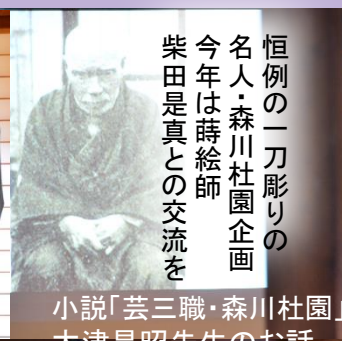
かまど体験。  
裏庭できゅうりを収穫！



これが杜園の彫り！



金田充文さんが  
杜園作の狛犬を  
披露。



恒例の一刀彫りの  
名人・森川杜園企画  
今年は時絵師  
柴田是真との交流を

小説「芸三職・森川杜園」 著者  
大津昌昭先生のお話



美味しく  
炊けた！



大津先生が柴田是真になって朗読！



みんなで梅仕事！



美味しい梅干しになあれ

## フランスの歴史的街区・指定第一号 ～中世の街「サルラ」を訪ねて～

ラスコー洞窟に向かう途中に立ち寄った素敵な街を紹介しますね。

ボルドーから東へ約140km、葡萄畑を抜けて電車で2時間も行くと、中世の雰囲気そのまま残した美しい街サルラに着きます。橿原の今井町より少し大きな旧市街は城壁に囲まれ、石造建築が並ぶ細い路地は迷路のよう。名産フォアグラやワイン店が軒を連ね、道にはカフェがせり出し、広場では朝市やギターライブが行われるなど、歩くだけでも楽しい観光地です。映画のロケにもよく使われるそうです。

さて、実はこの街、古い建物が壊されつつあった1962年に、いわゆるマルロー法が最初に摘要された景観保護地域。50数年を経て着実に復元し、いまや年間150万人が訪れる欧州人憧れの街となりました(人口9千人)。

奈良町はもとより日本全国の歴史的景観を保護している多くの地域でも、サルラのように大規模な観光集客との両立ができれば素晴らしいように思います。また、久しぶりの旅行は、当館(町家の暮らし文化の体験・観光施設)の情報発信や、もてなしの方法を改めて考える機会となりました。

\* マルロー法(1962年):故マルロー文化相が提唱した歴史的街区保存、不動産修復を促進するための制度で、都市計画的な視点が特徴。

### 旅メモ

- ・サラダを頼んでもフォアグラが付いて来る！冷えたロゼと共に一生分食べた(笑)
- ・地元の小学生が中世のメジャー(1クデーごとに結び目を作った縄)で、道幅や教会の石の大きさを計測していた。昔を調べる校外学習。クデーは肘から手先の長さ。

レポート 堀内紀子(当館事務局)

道幅はヒューマンサイズ、車は通れない

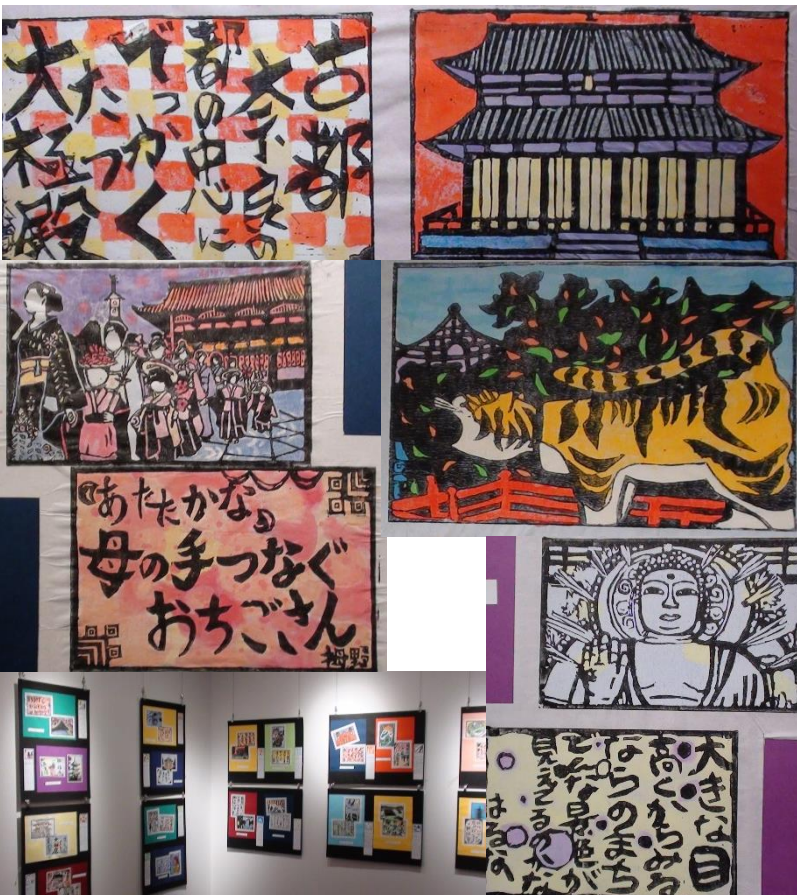
石は明るい黄土色

夜10時の広場のカフェ。夏至

ラスコー、サイコー！洞窟内いたるところに動物画が！

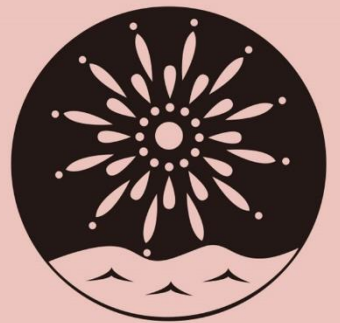
## 蔵展示「奈良の彩」中学生の色版画展

毎年、好評の伏見中学校生徒作品展。奈良の名所や自分のお薦めスポットを、版画にして彩色しています。遠方からのお客様も「奈良の良さが伝わってくる！」と、感動の声が。



奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～大暑～

サリサリサリかき氷旨し  
すこやかに汗して励む  
大暑の今日も



オリジナル節気短歌  
喜多隆子(歌人)  
節気マークはがきデザイン  
金田あおい(藍寧舎)

サリサリサリと  
氷も美味しい季節。  
すこやかに汗を  
かきながら、  
大暑の今日も  
励みましょう。

# 事務局だより

2018  
大暑号

事務局長 藤野正文

梅雨明けの7月、二十四節気では「大暑」から8月の「立秋」と夏を迎えます。本格的な夏の到来。暑中見舞いは、大暑（今年は7月23日）まで、あとは残暑見舞いですね。

土用の丑の日（今年は7月20日。二の丑は8月1日）にはウナギを食べるとも言いますね。夏の土用は立秋になる前の18日間をいうようで、この期間は季節の変わり目でもあり、田には水を入れず、雑菌を抑え、土を掘り起こしてはいけない時期で、土を司る土公神（どくしん・どくじん）という神様が支配するといわれているよう。

一方で土用の虫干し、梅干しの天干しをする時期。また、丑の日にはウナギのほかに「梅干し」「瓜」「うどん」など「う」のつくものを食べると病気になる食べやすいものですね。

月初めには、西日本を中心とした記録的豪雨があり浸水、土砂崩れにより多くの方がなくなりました。ご冥福をお祈りします。また、先月には大阪府北部で地震もありました。さらに、この時期は台風のゆくえも気になります。

日本列島には、恵まれた季節の変化があり、繊細な自然の移ろいととも

ガラス張りでない、町家の良さを生かした展示。第1弾は妖怪書家「逢香展」。7/22～8/11



★町家美術館企画、始まる！

やっぱり、  
食べることが  
1番よね！



こんな風に  
年に一度出会ったら  
楽しいな。

★にぎわい名物？！  
ホワイトボード劇場！

突然思いもよらない災害が発生します。人々は、何者の仕業かとののき、自然をあがめ、自然にあらがわず、自然を愉しみました。その中で、草木と土でつくられた日本の住まいと日々暮らしに祈り、慣習を生み出してきたと思います。

★今年の七夕は雨……  
雲の上の星に願いが届きますように。



来館者の皆さんが書いて下さった  
短冊を座敷にしつらえました。

★蔵展示 谷真理子 書  
奈良墨で伝える七夕の風習



七夕のいわれを  
千年残る奈良墨で。



## 奈良町にぎわい通信vol.39

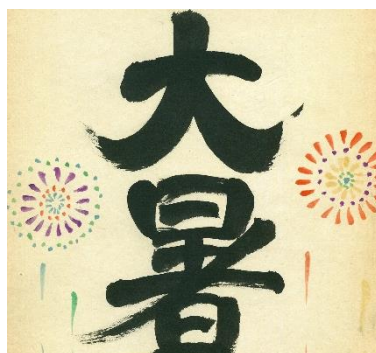
制作...奈良町にぎわいの家管理共同体  
発行人...二十軒起夫  
編集・構成...おの・こまち  
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一  
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00～17:00 水曜日・休館  
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書...逢香



奈良町にぎわいの家  
オリジナル節気マーク



小暑

7/7～22



大暑

7/23～8/6

杉の木に雷神(かみなり)落ちて裂けたるを  
ことしの夏の情熱とせむ 前登志夫